

ようこそ岐阜へ！

ようこそJSDG第17回全国大会へ！

まず黙禱を捧げましょう



平成28年熊本地震の犠牲者の皆さんへ

東日本大震災の犠牲者の皆さんへ

新潟県中越沖地震の皆さんへ

それ以外の災害・事故・テロの
犠牲者の皆さんへ

オープニングアクト

～イベントオリエンテーション～

2017年7月16日(土)

JSDG会長

北村 士郎

(熊本大学大学院 社会文化科学研究科 教授システム学専攻)

自己紹介：北村 士郎



熊本大学

- ◆ 大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻
- ◆ eラーニング、社会人教育、高等教育の専門家を養成するeラーニング大学院

民間企業（保険会社）勤務→転籍

関心分野

- ◆ 企業・組織内の人材育成、社会人の学び
- ◆ イノベーション論・問題学
- ◆ インストラクショナル・デザイン
- ◆ ワークショップ など

あらためて、ようこそ！



JSDG会員ではない方

全国大会・チュンケン初参加の会員
久々に参加される会員

毎年の様に参加される会員

Japan System Administrators Group

日本システムアドミニストレータ連絡会

- 業務改革を推進するリーダーとして、
利用者の視点でITの活用を促進し、
社会の発展に寄与する人材で
当会の趣旨に賛同する方で構成
(2016年7月14日現在256名)
- 多岐にわたる業種、職種、地域、年齢の
会員が各種の交流

岐阜から発信する ITと仲間づくり

開催概要

織田信長が天下布武への足がかりとした
金華山にそびえ立つ岐阜城、
金華山を沿うように流れる清流長良川、
由緒正しく受け継がれし鶉飼。

歴史と伝統が今に引き継がれるこの地において、
我々ITを担う者が、地元で生きる方、地元を盛り上げる方と
交流することで、どのようなことを学ぶことができるのか。

また、我々は彼らと共に何を成すことができるのか。

2日間大会を通して、
ITを担う者、地元を担う者と共に考えたいと思います。

熊本地震で気付いたこと

ある日突然「地元のボランティア」に

震災から学ぶ

→我々は大災害にどう備えるべきか？

復興を考える

→我々に何ができるか？

でも、どこか
ひとつごと

熊本地震で気付いた3つのこと



1. 「もしも」を「いつも」にビルドイン
2. (1:) $1:n \rightarrow n:n$
3. JSDGメンバーにできること

1. 「もしも」を「いつも」にビルドイン



すぐ役立つ「いつも使っているもの」

- ◆ 「災害時用」は間に合わないことも
- ◆ 最低限ホットスタンバイ

落ち着たら欲しくなる「いつものもの」

非常を日常に組み込むデザイン (ビルドイン)

「いつものもので被災時に対応」

「もしもをいつも」

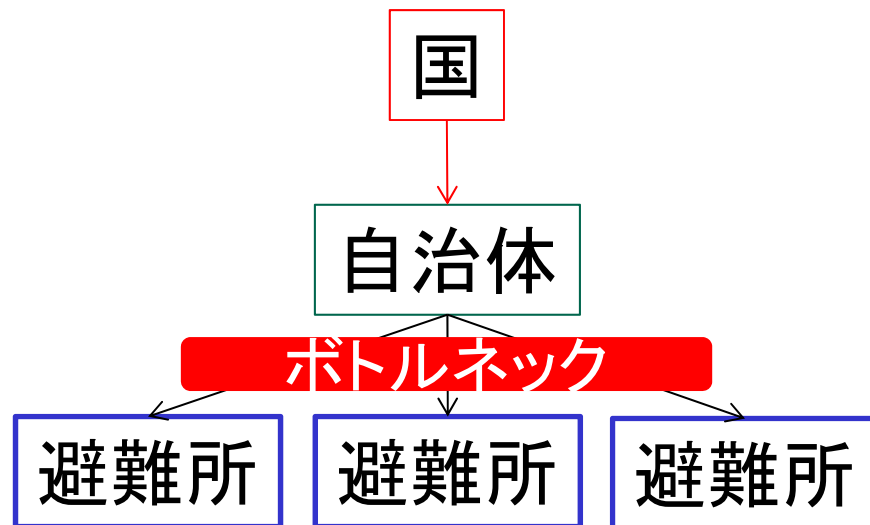
参考HP: 無印良品Webサイト「わたしの備え。いつものもしも。」

<http://www.muji.net/store/campaign/detail/C11081901> (最終閲覧 2016/07/15)

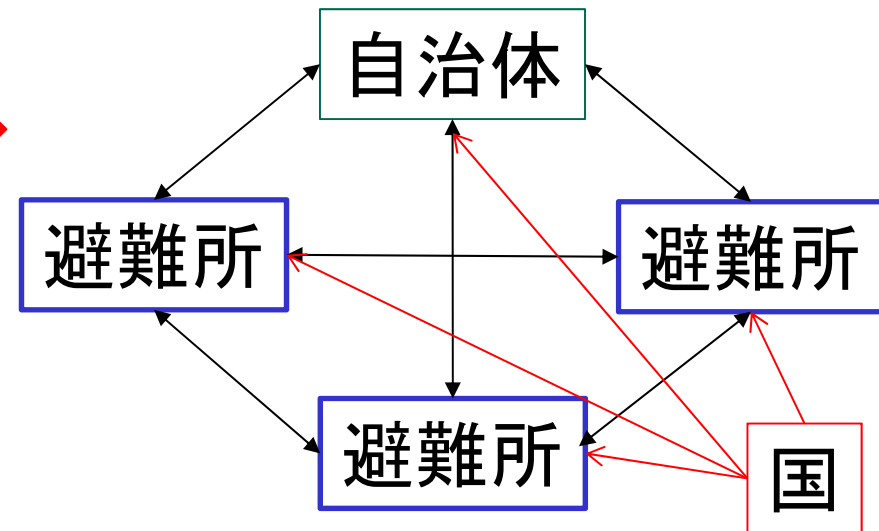
2. (1:) 1:n → n:n



(1:) 1:n



n:n



中央制御 → (自律・自立) 分散制御

互恵的關係 「お互い様」

自律的に動け自立を支える人材の必要性

3. JSDGメンバーにできること



- 避難所の情報の流れを整える
- オペレーションの効率化
- 氾濫する情報のキュレーション
- 問題の設定と対処
- 情報の受発信
- ネットワーク型リーダーシップの発揮

避難所の情報の流れを整える



避難所などでの情報の流れを整え、
共有を促進する



指揮系統などが乱れたり、
重要な指示が共有・徹底できなかつたり
することが多い

オペレーションの効率化



ボランティアなどが効率よく
オペレーションできるようにすること。

業務の流れを整理し様々なシステム
(仕組み) を作ること。



ボランティアの体力と時間にも限界あり
→負担軽減を考えなければならない。

氾濫する情報のキュレーション



メディアリテラシーを発揮して、
情報を吟味しキュレーションすること



デマ等を廃し、自分がキュレーション
したもののみをシェアする等して
(再) 発信することで、情報の品質を
上げていく。

問題の設定と対処



迅速に論理的かつ創造的な問題対処



被災地は問題の集積地。

自治会長などコミュニティのリーダーの
参謀になって提案して、

問題の発生数 < 対処済の問題数
になるようにする。

「解決」だけでなく、積極的放置、妥協、
現状容認といった多様な対処を提案

Win-winを目指す交渉も

コミュニティリーダーの参謀として
SNS等を使い、
必要な情報の収集や発信をしていく



地域コミュニティのリーダー（町会長、
自治会長等）がICTに強いとは限らない

でも日頃から地元とはつきあいが・・・



たった一言で大丈夫！

「何か手伝えることがありますか？」

「日頃からつきあいが無いから」

と気後れせずに

「日頃からつき合いが無いから」こそ

非常時にご近所貢献

イベント・オリエンテーション

岐阜から発信する ITと仲間づくり

開催概要



織田信長が天下布武への足がかりとした
金華山にそびえ立つ岐阜城、
金華山を沿うように流れる清流長良川、
由緒正しく受け継がれし鶺鴒。

歴史と伝統が今に引き継がれるこの地において、
我々ITを担う者が、地元で生きる方、地元を盛り上げる方と
交流することで、どのようなことを学ぶことができるのか。

また、我々は彼らと共に何を成すことができるのか。

2日間大会を通して、
ITを担う者、地元を担う者と共に考えたいと思います。

イノベーションモデルの基本型

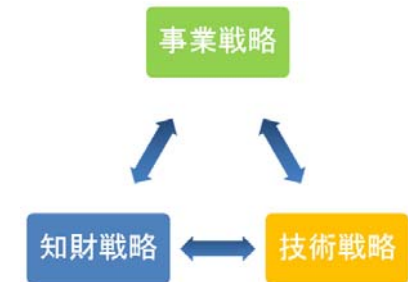


二つのサイクルモデルと一つの促進モデル

イノベーションサイクルモデル

(1) 技術起点型知的創造サイクル
(テクノロジープロジェクトモデル)

(2) ビジネスリフレクションモデル
(事業構想・イノベーションシナリオ起点型
事業創造サイクル)



イノベーション促進モデル

**ソーシャルイシューマネジメント型
(社会問題起点型)**

妹尾堅一郎「技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるのか」より

技術力で勝る
日本が、なぜ事業で
負けるのか
画期的な新製品が特許する理由
技術だけで勝つ
時代ではない

プログラムと聴きどころ

本日のプログラム

基調講演

岐阜長良川のほとりから発信しつづけてきたこと



会員講演

伝統と文化だけでは伝わらない物語

～全国の鵜飼事業に見る地域活性化のアプローチ～



招待講演

「インターネットと音楽」
「意外と稼げるロンドン地下鉄バスキング」



懇親会 ・ エンドレス懇親会

岐阜長良川のほとりから 発信しつづけてきたこと

蒲勇介様

NPO法人ORGAN代表



- デザイナー
- 「長良川おんぱく（長良川温泉泊覧会）」プロデューサー
- 「鵜飼で有名な岐阜」は「鵜飼しかない岐阜」ではなかったことを地元の人たちに気付かせる仕掛け



「伝統と文化だけでは伝わらない物語」 ～全国の鵜飼事業に見る地域活性化のアプローチ～

森松誠二（JSDG会員）

平工顕太郎様 結の舟 岐阜清流オフィス代表

観光資源として十分なコンテンツを持つ鵜飼、
全国11箇所で行われていますがその現状は？
今後どのように活かしていくことが出来るのか？
鵜飼関係者の方の視点もお楽しみに

なお、ご講演を予定されていた後藤喜代司様は
ご都合によりご欠席となりました。



「インターネットと音楽」

小島真様 プレスサポート・NEW VINTAGE RECORDS代表

イギリス在住だった土門秀明様と
ネットのみのやり取りで制作された
土門秀明様のアルバム「Live in Tube」の制作秘話

意外と稼げるロンドン地下鉄バスキング

－その方法と運営方式について－

土門秀明様 ギタリスト

- ・ ロンドンバスキングとは？演奏は？稼ぎ方は？
- ・ 「地下鉄のギタリスト」出版秘話



2日目(会員限定)

高橋尚子ロード(Qちゃんロード)を走る(ランニングチームJJ)

6:00 ホテルロビー集合 6:00~7:00準備体操&約5kmラン

各種活動報告

マイクロミニ研究会・ランニングチームJJ・芸能部・
WEB基盤整備・第18回全国大会・タスクフォース

諸連絡・クロージング

11:00~ オプションツアー1・2

オプションツアー

オプションツアー 1 「ぎふあるものレストラン」

Part1:岐阜を味わうプログラム

今回は、平工さんの鮎をはじめ、長良川デパートに並ぶ岐阜の食材をみんなで調理し美味しく頂きます。

Part2:岐阜市内を散策&探索 **飛び入り歓迎!**

金華山のふもとに移動して、ボランティアの岐阜市まちなか案内人の方に説明して頂きながら散策。



岐阜の新たな名所「みんなの森ぎふメディアコスモス」の秘密にせまる「メディコスアドベンチャー」も開催

オプションツアー 2 「合掌造りの宿に泊まる」

この2日間が皆さんにとって



知的刺激に満ちた
良き日でありますように